

特集

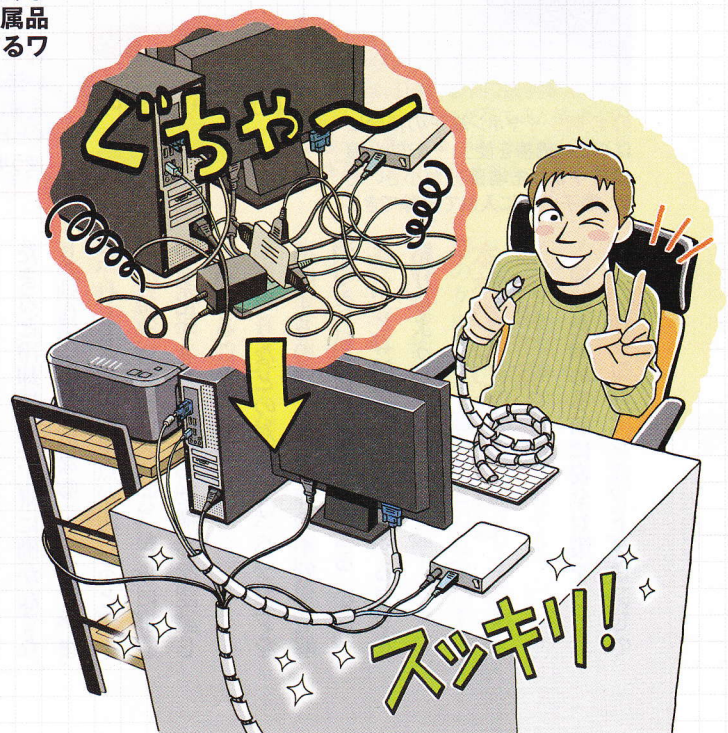
# パソコンの

100円グッズが大活躍!

# 掃除 & 整理

年末年始はパソコン周りの大掃除をしませんか？ 汚れたパソコンを掃除すれば、見た目がキレイになるだけでなく、動作も快適になります。掃除の次はパソコン周りの整理。周辺機器やケーブル類、付属品などの片付けは意外と難しいもの。整理の悩みをスッキリ解決するワザを紹介しましょう。100円ショップのグッズが大活躍します。

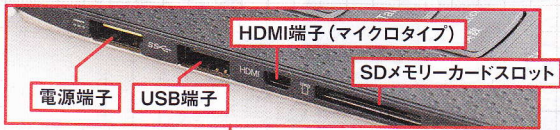
文／波多野 絵理、石坂 勇三 イラスト／森 マサコ



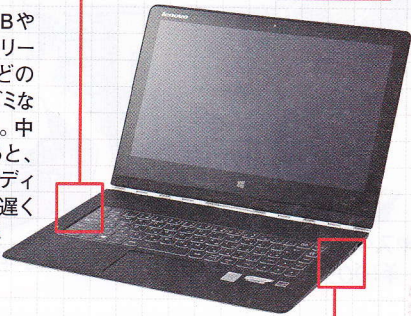
# 汚れを徹底的に落とす キレイになり動作も快適

## 掃除編

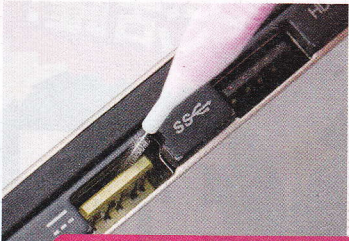
### 端子の中の掃除は 自宅にあるものを活用



①②③ 図3 USBやHDMI、SDメモリーカードスロットなどの端子はホコリやゴミなどがたまりやすい。中の接点が汚れると、セットした記録メディアの読み書きが遅くなったり、最悪認識しなくなったりする



④⑤ 図4 USB端子とHDMI端子の掃除には歯間ブラシを使う。中にたまったホコリなどをかき出せる。付箋紙を挿し込んで、粘着面にホコリをくっつけて取ることも可能だ



#### 用意したもの

- 歯間ブラシ (15本入り) …… 300円
- 付箋紙 (6冊入り) …… 108円



#### 用意したもの

- ベビー綿棒 (200本入り) …… 200円

⑥⑦ 図5 イヤホン端子の掃除にはベビー綿棒を使う。一般的な綿棒の中より先端部分が小さいため、端子の中に入れて掃除できる

### 本体のしつこい汚れは 洗浄液で落とす

掃除を始める前に安全対策をしておこう。パソコンをシャットダウンして

ホコリなどの対策には、パソコンを掃除するのが一番。動作の不安定を解消でき、見た目もきれいになる。ここでは、パソコンを上手に掃除するコツを紹介しよう。

ホコリなどの対策には、パソコンを掃除するのが一番。動作の不安定を解消でき、見た目もきれいになる。ここでは、パソコンを上手に掃除するコツを紹介しよう。

### 本体の汚れは 専用クロスで拭き取る



クロスで拭く

#### 用意したもの

- パソコンクロス (2枚入り) …… 108円



⑧⑨ 図1 本体の汚れは、専用クロスや不織布などの乾いた布で拭き取ろう。クロスは100円ショップなどで購入できる



クロスに散布する

#### 用意したもの

- OA機器用洗浄液 CK-AL100 (エレコム) …… 420円

⑩⑪ 図2 クロスだけだと落ちない汚れは、水で薄めた中性洗剤を布に含ませ、固く絞ってから拭くとよい。OA機器用の洗浄液を使う場合も、布に散布して拭く

### 長

くパソコンを使っていると、本体のあちこちに汚れが目立つようになると、そのまま使い続けるのは厳禁。実は、ホコリなどの汚れはパソコンの大敵だ。例えば、通風口にホコリがたまると冷却機能が正常に働かなくなり、動作が不安定になることもある。また、USB端子の接点が汚れるとデータの読み書きが遅くなる。さらに事態が悪化すると、接続した機器を認識しなくなることもある。



## 通気口にたまったホコリは家庭用の掃除機で吸い取る

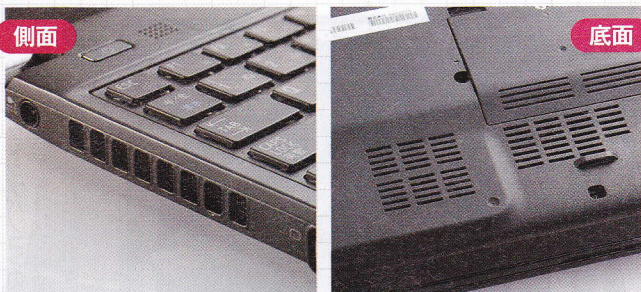
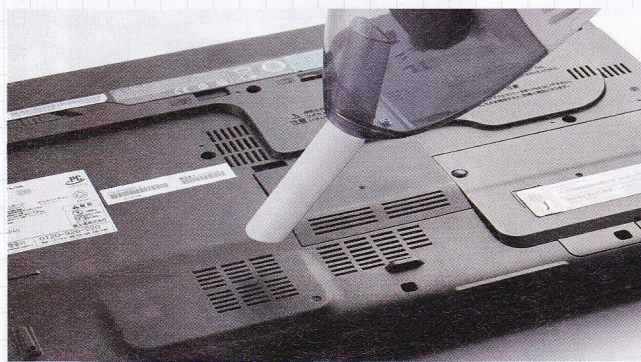


図8 通気口の位置はパソコンの機種によって異なるが、側面や底面にある場合が多い。掃除前によく確認しておこう



⚠ 外装のカバーを無理やり外すと、基板との接続用コードが切れたり留め具が破損したりすることがある

図9 綿棒（または歯間ブラシ）と掃除機をセットで使うと便利。綿棒で隙間からホコリをかき出して掃除機で吸い込む。掃除機で吸い込むだけでも十分効果がある

次に通気口に目を向けよう。通気口のホコリは、家庭用の掃除機などで吸い込むのがベスト（図8、図9）。掃除機の吸い込み口を近づけるだけでほぼ吸い取れる。綿棒を使う場合は扱ひ方

完全に電源を切り、電源コードを抜く。ノートパソコンの場合は、バッテリーパックを本体から取り外そう。

まずは本体の掃除だ。クリーニング用のクロスや不織布などの乾いた柔らかい布で汚れを拭き取る（図1）。クロスは100円ショップでも購入できる。クロスだけで落ちないときは、水で薄めた中性洗剤や市販のOA機器用の洗浄液を含ませてから拭くとよい（図2）。勘違いしやすいのは、ティッシュペーパーで拭くこと。一般的なティッシュペーパーは繊維が硬く、拭き掃除には不向きなので覚えておこう。

端子類の掃除は、歯間ブラシや綿棒など自宅にあるものが重宝する（図3）。歯間ブラシは先が細く、USB端子やHDMI端子の中に挿し込め、奥に入り込んだホコリをかき出せる（図4）。ベビー綿棒など先が細い綿棒なら、イヤホンとマイク端子に直接挿して拭き取れる（図5）。仕上げにエアダスターで端子の中に残ったホコリを吹き飛ばすと完璧だ（図6）。

端子の掃除をもっと楽しみたいなら、専用グッズの出番だ。USB端子の専用クリーナーなら、何度かUSB端子に抜き挿しするだけで接点部分の掃除が完了する（図7）。

完全に電源を切り、電源コードを抜く。ノートパソコンの場合は、バッテリーパックを本体から取り外そう。

まずは本体の掃除だ。クリーニング用のクロスや不織布などの乾いた柔らかい布で汚れを拭き取る（図1）。クロスは100円ショップでも購入できる。クロスだけで落ちないときは、水で薄めた中性洗剤や市販のOA機器用の洗浄液を含ませてから拭くとよい（図2）。勘違いしやすいのは、ティッシュペーパーで拭くこと。一般的なティッシュペーパーは繊維が硬く、拭き掃除には不向きなので覚えておこう。

端子類の掃除は、歯間ブラシや綿棒など自宅にあるものが重宝する（図3）。歯間ブラシは先が細く、USB端子やHDMI端子の中に挿し込め、奥に入り込んだホコリをかき出せる（図4）。ベビー綿棒など先が細い綿棒なら、イヤホンとマイク端子に直接挿して拭き取れる（図5）。仕上げにエアダスターで端子の中に残ったホコリを吹き飛ばすと完璧だ（図6）。

端子の掃除をもっと楽しみたいなら、専用グッズの出番だ。USB端子の専用クリーナーなら、何度かUSB端子に抜き挿しするだけで接点部分の掃除が完了する（図7）。



角度を付けて噴射

### 用意したもの

- エアダスター AD-DME(エレコム)…650円
- ブローワ―……………108円

図6 最後にエアダスター（またはブローワ―）を使ってホコリを吹き飛ばす。真正面から吹き付けるのではなく、角度を付けて噴射したほうがホコリが出やすい

### ★専用グッズを使えば掃除が楽々



2、3回抜き挿しする

### 用意したもの

- USB端子クリーナー CD-USB1N (サンワサプライ)…820円

図7 サンワサプライ製のUSB端子クリーナーは、USB端子に抜き挿しして掃除するグッズだ。汚れが落ちると接点との接触部分が黒くなる。ほかにもSDカードスロット用のクリーナーもある

黒い筋が入る

## キーボードの溝の掃除は 専用グッズが重宝する



クロスとOA機器用の  
クリーナーを使って掃除

図12 キーボードは日常的に触れるので特に汚れやすい。キーの汚れを落とすには、クロスと水で薄めた中性洗剤かOA機器用の洗浄液を使おう



溝が浅いタイプ



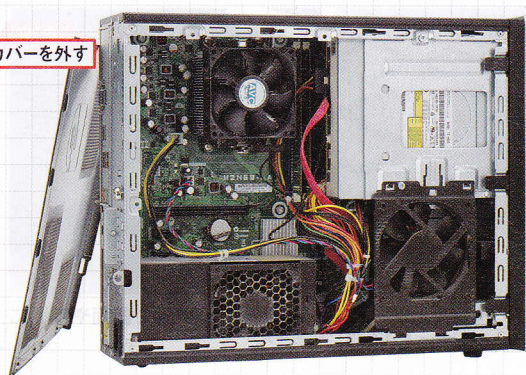
溝が深いタイプ



溝が深いタイプ

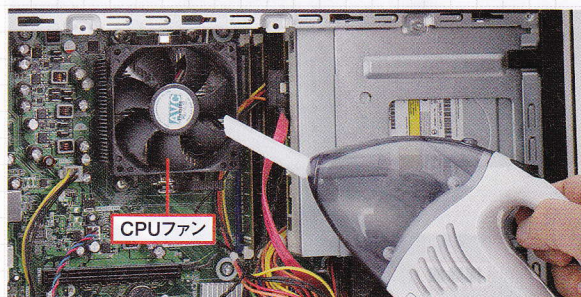
図13 キーとキーとの間の溝が浅いタイプ(上)は、図12の方法で拭くだけでよい。一方、溝が深いタイプ(中、下)は、拭くだけでなく溝の中にとまったゴミを取り除く作業も必要だ

## デスクトップパソコンは きょう体のカバーを外す



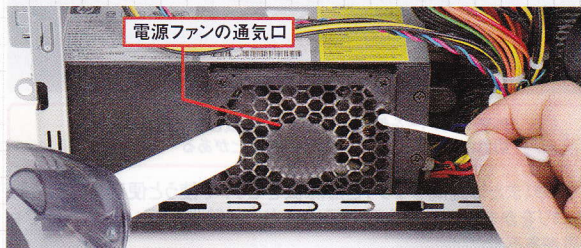
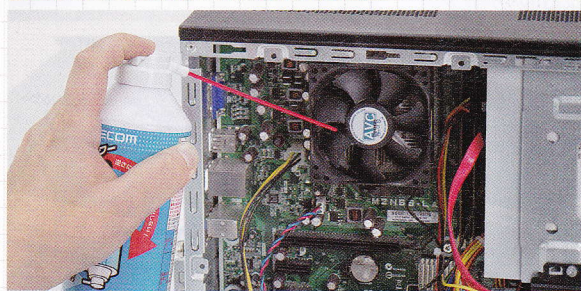
カバーを外す

図10 デスクトップパソコンの多くは、きょう体のカバーを外して内部を掃除できる。内部の基板には触れないように注意しよう



CPUファン

図11 CPUファンにたまったホコリは、掃除機で吸い取るかエアダスターで吹き飛ばそう。電源ファンのホコリは、綿棒などでかき出してから吸い込む



電源ファンの通気口

に注意。ホコリを押し込んで内部に落とさないよう慎重に作業しよう。  
デスクトップパソコンは、きょう体のカバーを取り外し、内側から掃除するのが手っ取り早い(図10)。カバーを開けたら、ホコリがたまりやすいCPUと電源のファンの周辺を徹底的に掃除する(図11)。エアダスターを使うなら、ホコリが奥に入り込まないように風の向きを工夫しよう。

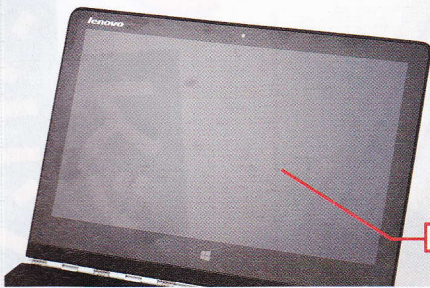
### 溝が深いキーボードは 掃除方法をひと工夫

キーボードは常に触れているので手あかや指の脂などで汚れやすい。本体の掃除と同様に、柔らかいクロスでキーの汚れを拭き取る。汚れが目立つなら、水で薄めた中性洗剤やOAクリーナーを含ませてから拭く(図12)。

考えなければいけないのは、キーボードの溝の掃除。溝が浅いタイプと深いタイプに分かれ、浅いタイプのほうが掃除は簡単(図13)。溝が深いタイプは、内部に入り込んだゴミを取り除くための工夫が必要だ。

溝のゴミは、キーボードの上下を逆さまにして持ち、背面を軽くたたいてある程度落とせるが、それだけでは不十分。残ったゴミは、専用グッズで取り除こう。ペンタイプのクリーナーなら、溝に直接挿し込んで掃除できる(図14)。ジェルをキーの上から押し込み、内部のゴミを付着させるユニークな製品もある(図15)。また、エアダスターを溝

## 液晶の掃除では 使う洗浄液に注意



◀ 図17 液晶ディスプレイは、使っていくうちに静電気でホコリが付着し、指で触れると指紋や皮膚の脂が目立つようになる。きれいに掃除して見やすい画面にしよう

汚れが目立つ

◀ 図18 液晶ディスプレイの上の汚れを取り除く。柔らかく乾いた布でディスプレイを軽く拭く。ホコリが付いていたら、先にエアダスターで吹き飛ばしておく

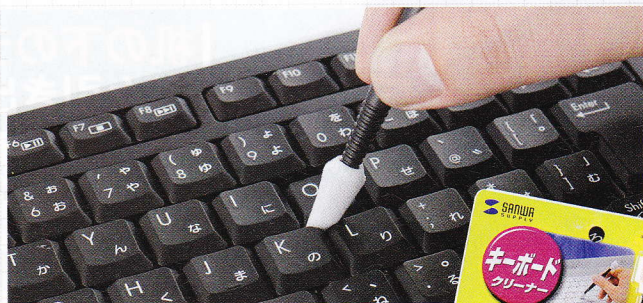


軽く拭く

### 用意したもの

- 液晶用ウエットティッシュ WC-DP15PN3 (エレコム) ..... 120円
- ディスプレイ用洗浄液 CK-DP60 (エレコム) ..... 380円

◀ 図19 しつこい汚れは、液晶用の洗浄液を使って拭き取るとよい。エレコムの洗浄液には帯電防止効果もあり、掃除後はホコリが付きにくくなる



### 用意したもの

- キーボードクリーナー CD-SKB1 (サンワサプライ) ..... 800円

◀ 図14 先端をキーボードの溝に挿し込むペンタイプ cleaner もある。挿し込んだまま動かせば先端部分にゴミが付着する。また、掃除しにくいキーの側面を拭くときにも役立つ



溝の中に入るように押し込む

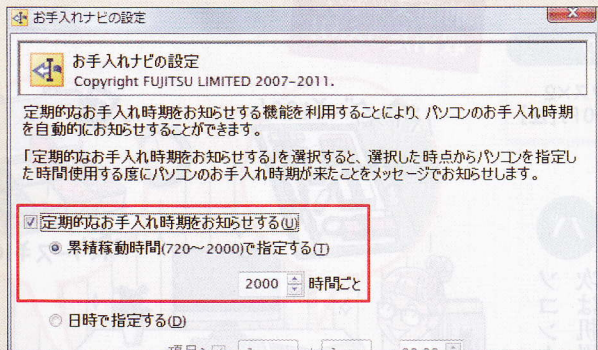
### 用意したもの

- サイバークリーン PCP-135 (アイリスオーヤマ) ..... 800円

◀ 図15 クリーニング用のジェル素材をキーの上から押し付けて溝のゴミを取るユニークな製品もある。利用後はゴミが付いた部分を切り取ってキレイな部分のみで再度使う

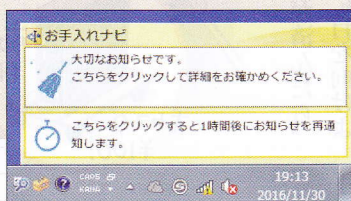


## 掃除時期を教えてくれる付属ソフト



◀ 図20 富士通製のパソコンの一部には、パソコンの掃除時期を通知する「お手入れナビ」機能が付属する。パソコンの起動時間の合計が指定の時間になるか、掃除をすると決めた日時になったときに通知することができる

◀ 図21 タスクトレイの通知をクリックすると、ソフトが起動して掃除が必要な箇所などを教えてくれる



元に戻せないこともある

◀ 図16 キーを取り外して掃除するのはNG。無理やり外して破損してしまうと、今までのようにキーを押しても文字入力ができなくなる場合もある

に挿し込んで吹き飛ばしてもよい。掃除のためにキーをすべて取り外すのは一部の対応製品を除き、原則やっではない。未対応の製品で無理やり外すと、接続部分が破損して元に戻せないこともある(図16)。吸引力が強い掃除機も、キーを吸い込んでしまう恐れがあるので使うのは避けよう。液晶ディスプレイに付いた指紋や皮膚の脂はクロスで拭こう(図17、図18)。頑固な汚れに洗浄液を使う場合は、「液晶用」などと書かれたアルコールを含まない製品を使う(図19)。今後は、定期的に掃除しよう。掃除のタイミングを通知する機能が使えるパソコンもある(図20、図21)。

整理  
編

パソコン周りが

スッキリする収納ワザ

## 机の下のデスクトップも 楽々引き出せる

背面の端子も  
これなら自在に使える



結束バンド

用意したもの

- すのこ……………108円
- 結束バンド……………108円
- キャスター×2……………216円

キャスター

④④ 図1 セパレート型のデスクトップパソコンの本体は、キャスター付きのすのこの上に置けば、背面のUSB端子を使うときなど簡単に引き出せる。台にするすのこは100円ショップで扱っている。結束バンドを使えばネジなどを使わなくてもキャスターを固定できる

④④ 図2 結束バンドをキャスターのネジ穴に通し、すのこの裏にしっかり固定する。飛び出た部分はハサミで切る。安定しているか、キャスターが回るか確認してから本体を載せる



## 用紙と予備インクは サイドのポケットへ収納

④④ 図3 A4サイズの木製ファイルボックスを2個用意し、横向きに組み合わせてプリンター複合機の設置台にする。左右のポケットに用紙を入れても、正面からは見えにくい



④④ 図4 予備のインクもスッポリと収まる。ドライバーディスク、取扱説明書などの付属品も一緒に入れておくと便利

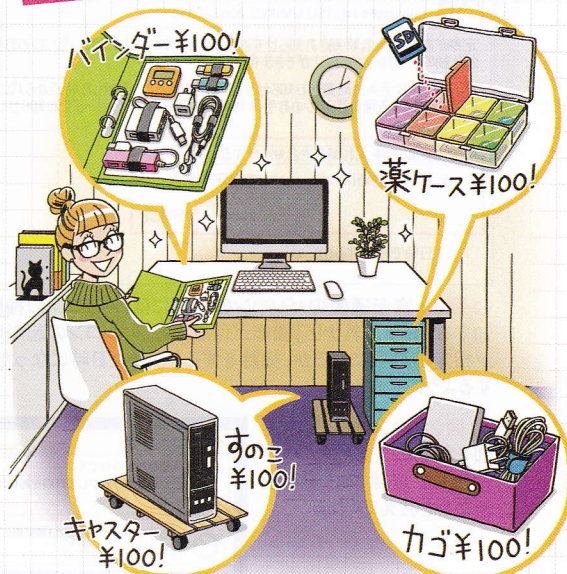
用意したもの

- 木製ファイルボックス×2……………3300円[注]

前面スッキリ!  
収納たっぷり!

パソコン本体の掃除が済んだら、次は机周りの整理に目を向けよう。机の上が周辺機器やケーブル、付属品などであふれかえっていると、作業するには何かと非効率。きちんと整理さえすれば、見た目がスッキリするだけでなく、周辺機器を入れた場所がわからず探し回る手間からも解放される。ひと口にパソコン周りの整理といっても、どうすればいいか悩ましいもの。そこで、誰でも簡単にできる2つの収納方法に注目しよう。

1つは、使い終わった機器を引き出しや整理棚などに片付ける「隠す収納」。使っていないものを極力、出しっぱなしにしないのがルールだ。見た目がきれいになるだけでなく、作業スペースを増やせるというメリットもある。もう1つは、よく使う周辺機器を目が届く場所に設置する「見せる収納」。使い



[注] アマゾンで購入した場合の価格。製品の正式名称は「ファイルボックス リオン A4対応 ブラウン」

SDメモリーカードの保管には薬ケースがジャストサイズ



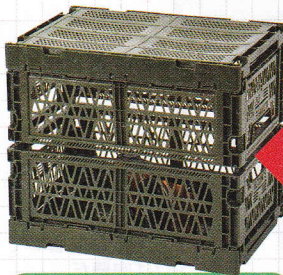
用意したもの

- 分離型薬ケース……108円

図7 SDメモリーカードの収納場所には、薬ケースがうってつけだ。収納場所が複数あり、ストレージの容量別や使用・未使用など自分のルールで管理できる。上のような分離タイプなら、取り外して持ち歩くことも可能

整理棚が「あっ」という間にフタ付きボックスに変身!

図5 プラスチック製のボックスを2個用意し、結束バンドでつないで棚を作る。片方のボックスをフタのようにして閉じれば、ホコリが入り込むのを防げる



用意したもの

- プラボックス×2……216円
- 結束バンド……108円
- 滑り止めシート……108円



なくしやすい小物類はフタ付きケースへ

図8 予備の電池や変換アダプターなどの小物類は、仕切り付きのプラスチックケースに入れよう。仕切りがあるので、分類して整理しやすい。1,000円ショップにはケースの種類が豊富にあるので、小物のサイズや数に合わせて選ぼう



用意したもの

- フタ付きケース……108円

スマホやデジカメの充電器はカゴに入れてまとめて管理

用意したもの

- 小物用のカゴ……162円



図6 充電器はバラバラに収納しがちだが、小型のカゴなどにまとめて収納したほうが便利。複数の機器を充電するときでもまとめて持ち運べる。使い終わったらカゴに戻すように習慣付けよう

たいときにサッと手に取れるのは、一度体験したらやめられない便利さだ。どちらの整理法も、1,000円ショップなどで販売されている格安グッズで手軽に始められる。簡単、かつ、実践的なアイデアをまとめたのでぜひ参考にしてほしい。

**パソコン本体を床に置くなら可動式の台が便利**

まずは「隠す収納」から具体的な方法を見ていこう。真っ先に目を向けたのは、机の上を占有するデスクトップパソコンの置き場所だ。デスクトップ(セパレート型)の本体を机の下に隠すなら、直接床に置くのではなく、キャスター付きのすのこの上に置こう。可動式なので背面の端子を使いたいときにも簡単に引き出せる(図1、図2)。

プリンター複合機をリビングに置くと、用紙と予備インクの収納場所がなくて困ることがある。それなら、木製のファイルボックスを専用台にし、正面から見えない左右のポケットに用紙やインクなどを収納するといいたろう(図3、図4)〔注〕。

デジカメやマウスなどは、使い終わったら決まった場所に収納するのがコツ。図5のように2つのプラボックスを結束バンドで連結させて整理棚にすれば、片付けるとき便利だ。片方をフタのようにしてもう片方にかぶせれば、手軽にホコリ対策ができる。

デジカメやモバイルバッテリーなど

## ファスナー付きの袋で パソコンの付属品をひとまとめ

透明な袋なら  
中身を確認しやすい

➡ 図12 パソコンの取扱説明書や保証書、リカバリーディスクなどの付属品は、ファスナー付きの整理袋にまとめよう。中に入っている付属品の名前を袋に書いておけば完璧だ

用意したもの

- ファスナー付き整理袋……108円

## 数が少ない周辺機器の付属品は バイナーでまとめる

用意したもの

- 2穴バイナー……108円
- リフィルケース……108円



➡ 図13 周辺機器など付属品が少なければ、リフィルケースに入れてバイナーにまとめよう。後から必要になったらバイナーを開けば見つかる。バイナーの種類は2穴タイプがお勧め。2穴タイプであれば原則、26穴タイプのリフィルケースにも対応する

ゴチャゴチャしがちな電源タップやACアダプターなどは、ケーブルボックスに入れて隠そう(図9、図11)。

### ケーブルボックスも 自作すれば安く済む

SDメモリーカードや電池などの小物類は、紛失対策も重要。薬ケースや仕切りのある透明なプラスチックケースに入れれば、フタを開けなくても中身を確認できて安心だ(図7、図8)。

の充電器は、カゴにひとまとめに入れておくとう便利だ(前ページ図6)。旅行前に複数の機器を同時に充電したいときなど、1つひとつを別々に探す手間が省ける。

## 電源タップを 自作のボックスで隠す



ホコリを防げて  
掃除も楽に!

用意したもの

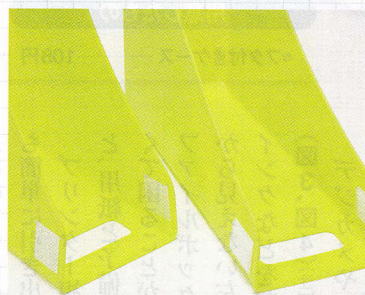
- 書類ケース×2……216円
- 面ファスナー……108円



書類ケース

面ファスナー

➡ 図9 プラスチック製の書類ケース2個と面ファスナーで、ケーブルボックスを作る。書類ケースは、ケーブルを出すために持ち手の穴があるもの、面ファスナーは、裏に接着剤が付いて貼り付けられるものを用意



➡ 図10 面ファスナーを適当なサイズに切り、書類ケースに貼り付ける。写真のように2カ所ずつ貼ればずれないが、上部にも貼ればさらに強度が増す

➡ 図11 書類ケースの中に電源タップを入れ、持ち手の穴からケーブルを出して使おう





## 出張7つ道具をファイリング 持ち出しも楽々!



出先で使う機器を  
1冊にまとめる

### 用意したもの

- 2穴バインダー……………108円
- 面ファスナー×6……………648円

④ 図16 USBハブや充電ケーブルなど出先で使う小物をまとめてバインダーに貼り付ける。普段は本棚などに立てて収納できる。出張など外出の際はバインダーごとバッグに入ればOK



④ ④ 図17 バインダーを開き、片面全体に面ファスナーを貼り付ける。面ファスナーを切り、機器側にも貼り付ける

## 大切な機器は リストバンドに入れれば安心



### 用意したもの

- リストバンド……………各108円

④ ④ 図14 デジカメはリストバンドに入れば、引き出しなどに収納するときに傷が付くのを防げる。ポケットがあるタイプなら、SDメモリーカードなどの小物も一緒に入れられる



## 小型機器の保護に便利な 椅子用ソックス

④ ④ 図15 1Cレコーダーや携帯音楽プレーヤーなどは、リストバンドよりもサイズが小さい椅子用ソックスのほうがピッタリ収まる。100円ショップでも椅子用なら4個入りだ



### 用意したもの

- 椅子用ソックス……………各108円

## 収納時の機器の保護には 意外なものが役立つ

デジカメや携帯音楽プレーヤーなどの大切な機器を保管するときは、傷対策にも心がけたい。専用ケースがなければ、伸縮性のあるリストバンドや椅子用ソックス(またはテーブル用ソックス)などにくるんでも傷を防止できる(図14、図15)。

出張や旅行など自宅から持ち出して使う小物が複数あるなら、特製のバインダーでまとめて管理しよう(図16)。内側に面ファスナーを取り付け、機器を貼り付けられるようにする(図17)。出かけるときはバインダーごとバッグに詰めるだけで必要な機器がそろう。

ケーブルボックスは市販の製品もあるが、100円グッズで自作したほうが断然安上がり。書類ケースに面ファスナーを貼り付けるだけで完成する。

付属品の整理にも100円グッズが重宝する。例えば、数が多いパソコンの付属品は、機種ごとにファスナー付きの袋にまとめるとよい(図12)。袋に油性マジックで名前を書いておけば、中に何が入っているか一目瞭然だ。

付属品が少なければバインダーにとじ込み、まとめて管理するのが効率的(図13)。リフィルケースは1枚に入られる量は少ないが、後からでも必要なだけ追加できる。バインダーなら、使わないときは本棚に立てて収納できるのもうれしいポイントだ。

必要な分だけ  
収納を追加できる

## ケーブルや周辺機器を ワイヤーネットにつるす

### 用意したもの

- ワイヤーネット×2 ..... 324円
- 結束バンド ..... 108円
- ネット用フック×2 ..... 216円
- ワイヤーケース×3 ..... 324円
- ケーブルタイ ..... 108円



使い勝手抜群！  
よく使うものに  
スグ手が届く

整理  
編

⇒ 図1 ワイヤーネットを2枚用意し、結束バンドでしっかりと固定し、L字にして自立させる。小物入れやフックはワイヤーに引っ掛けて設置できる。ケーブルは邪魔になりやすいので、フックに掛けるのは必要最低限にとどめておこう。ワイヤーネットの固定具(別売、108円)を壁面に取り付ければ安定して自立する

## リモコンはあちこちに 置かず一括管理

### 用意したもの

- 木製ボックス ..... 108円
- ゴムバンド(2本入り) ..... 108円

⇒ 図2 リモコンはあちこちに置くと見失いやすい。深めの箱に立てて一括管理すれば、使いたいときサッと取り出せる。箱に大きめのゴムバンドをかけて仕切りになると、リモコンを立てやすい





◀ 図3 常にパソコンとつながりっぱなしのUSBハブやカードリーダーなどは置き場所に迷いがち。面ファスナーを使ってデスクトップパソコン本体の側面など、邪魔にならない場所に固定しよう。いつでも着脱可能なうえ、貼ったまま使える

## 置き場所に困ったら パソコンの側面に貼る

### 用意したもの

- 面ファスナー……………108円



▶ 図4 機器の裏側と本体の側面に面ファスナーを貼り固定。面ファスナーはさまざまな形があるので、機器の形に合わせて選ぶ。外すときは、少しひねると剥がしやすい



▶ 図5 本体に貼りたくない場合は、ブックエンド(108円)などに面ファスナーで貼って使う方法もある

## ブルーレイ/DVD/CDは ウォールポケットの中に



### 用意したもの

- ウォールポケット……………108円
- ディスクケース  
(3枚セット)×2……………216円

▶ 図7 ブルーレイディスクやDVDなどはウォールポケットに収納しよう。判別しやすく、出し入れも簡単。ディスクケースに入れてから収納するなら、データの種類ごとに色分けするとわかりやすい

## ヘッドホンはフックで つるしておこう



▶ 図6 デスクトップパソコン本体の側面にキッチン用のフックを貼り付ければ、ヘッドホンやヘッドセットをつるしておける。これなら机の上に置くより邪魔にならないし、使いたいときすぐ手が届く。フックの種類は、取り外しても貼り直せるタイプが便利

### 用意したもの

- 粘着フック……………各108円

リモコンの管理も怠らないようにしましょう。リビングだけでなく液晶テレビ、ブルーレイレコーダー、エアコンなど数多く、迷子になりやすい。そこで、深めの箱にまとめて立てて、リモコンを一括管理しよう。ゴムバンドで仕切りを作れば立て掛けやすくなる(図2)。パソコンに接続したUSBハブやヘッドホンは、本体に置き場所を作ると邪魔になりにくい(図3、図6)。本体に貼り付けるのが嫌ならブックエンドを活用するのも手。頻繁に使うDVDなどの光学ディスクは、ウォールポケットに入れると管理が楽だ(図7)。

## リビングのリモコンは 箱に入れて一括管理

ネットに空きスペースがあれば、小物入れやフックを自由に追加できるのも魅力。100円ショップにはさまざまなタイプのワイヤーネット関連用品があるのでチェックしよう。慣れてきたら自分なりのカスタマイズに挑戦しよう。例えば、マウスやキーボードなど、使用頻度が高いものから順に手が届きやすい場所に配置するとよいだろう。

ここからは、今すぐ始められる「見える収納」を紹介しよう。真つ先に取り組みたいのがワイヤーネットを使った収納だ(図1)。パソコンの周辺機器やケーブルなどをワイヤーネット上の小物入れに収納したり、フックにつるしたりする。ネットに空きスペースがあれば、小物入れやフックを自由に追加できるのも魅力。100円ショップにはさまざまなタイプのワイヤーネット関連用品があるのでチェックしよう。慣れてきたら自分なりのカスタマイズに挑戦しよう。例えば、マウスやキーボードなど、使用頻度が高いものから順に手が届きやすい場所に配置するとよいだろう。

# ケーブルの「困った」を グッズで解決!

整理編

## ケーブルチューブでまとめれば 見た目もスッキリ!

➡ 図1 電源やUSB、LANなどのケーブルを1つにまとめるなら、ケーブルチューブが便利。使い方は、ケーブルを束ねてぐるぐる巻き付けていくだけで簡単。途中からケーブルを分岐させることも可能だ



用意したもの

●ケーブルチューブ……108円

➡ 図2 チューブは、ケーブルの長さに合わせて切って使える。10センチ程度に切り分けて使うと、巻いたり外したりするのが楽になる。部分的に巻くだけでもよい



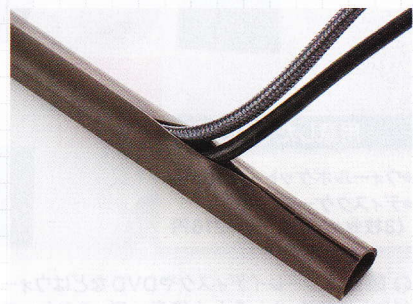
## ケーブルが少なければ 専用カバーで隠す

用意したもの

●ケーブルカバー……108円

➡ 図4 ケーブルカバーには、半円状のチューブに切り込みが入ったタイプもある。セットしたケーブルを切り込みから外に出し、分岐させることも可能

➡ 図3 ケーブルカバーを使う場合は、裏面が接着できるタイプを用意する。ケーブルの長さに合わせてハサミでカットし、壁や卓上など配線する場所に貼り付けて固定する。あとは、ケーブルをセットしてフタをはめ込めばよい



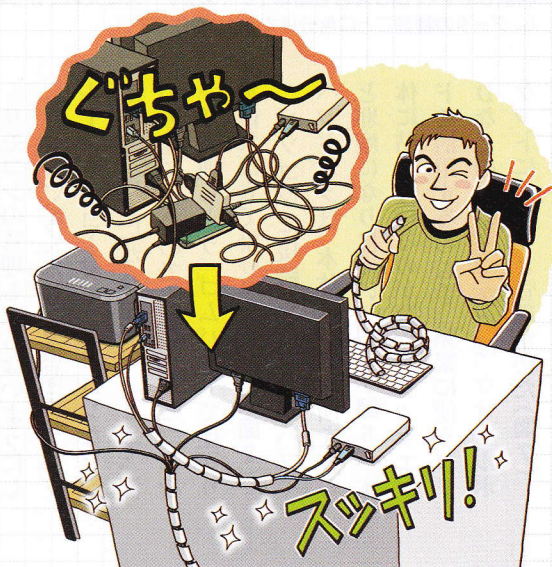
まとめられた後もケーブルの使い勝手を損なうことはない。ハサミでチューブを切るなどして巻き方を工夫すれば、

### 絡み合う配線は ケーブルチューブで解消

最後にパソコンに接続するケーブル類をスッキリ整理するコツを見ていこう。ケーブル関連で多くの人を悩ませるのは、接続した複数のケーブルが絡み合うこと。見た目も悪いし、掃除も大変。最悪、子どもが足を引っ掛けて転んでケガをする恐れもある。早急な対策が必要だ。

最

後にパソコンに接続するケーブル類をスッキリ整理するコツを



## 使っていないケーブルは束ねて保管

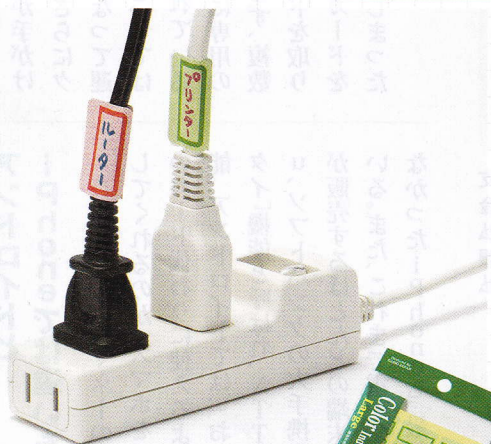


用意したもの

●ケーブルタイ……各108円

④ 図7 ケーブルを束ねるなら、面ファスナー製のケーブルタイを使う。幅があるのでしっかりまとまり、何度でも付け外しができる

## 電源プラグに“名札”を付けて抜き間違いを防止



用意したもの

●インデックスシール……108円

④ 図8 電源タップに電源プラグを複数挿すと、見分けが付きにくくなる。ノートの見出しに使うインデックスシールに機器の名前を書き、コードの根元に巻き付けておこう。これでどの機器のプラグがすぐにわかる

## USBケーブルを固定して“迷子”防止



用意したもの

●粘着式コードフック……108円

④ 図5 机の上の充電ケーブルは、コードフックに通しておくとも子になりにくい。フックにケーブルを通したら、フックの先端を折り曲げてコードが抜けられないようにする。使うときはケーブルを引き出して機器に接続する

用意したもの

●ダブルクリップ……108円



④ 図6 書類を挟むダブルクリップでもケーブルを固定できる。先端をクリップの持ち手部分に通し、テーブルや棚に固定して使う。先端が抜けるときは、持ち手の細くなった部分に輪ゴムなどを巻いて留める

## コンセントのプラグに名前を書いて間違い防止

使っていないケーブルは、専用のタイで束ねて保管しよう(図7)。面ファスナータイプならケーブルの付け外しも簡単。素材が軟らかいので、固めに結んでも断線する心配もない。

電源タップに挿したプラグは、どれがどの機器のケーブルかわからなくなりがち。それなら、機器の名前を書いたインデックスシールを根元に巻き付けておけば、抜き挿しで間違える失敗がなくなる(図8)。

ケーブルを分岐させることも可能だ。取り外しも簡単なので、ケーブルの増減にも簡単に対応できる。

接続するケーブルの数が少なければ、ケーブルカバーを使うのも手だ(図3、図4)。壁や床、机の上にしつかりと固定して配線すれば邪魔にならない。

充電用のケーブルなどを机の上に放置すると、先端の端子が見つかりにくい。気付かないうちに床に落ちることもある。そんな状況を改善するには、市販のコードフックを活用しよう(図5)。コードフックにケーブルを通すと、先端が引っ掛かって抜けなくなるので、床に落ちて見失うことがなくなる。

ケーブルフックの代わりに、書類などを挟むダブルクリップで代用することも可能。机などを挟んでクリップで固定し、持ち手の部分にケーブルを通せばよい(図6)。移動も簡単だ。